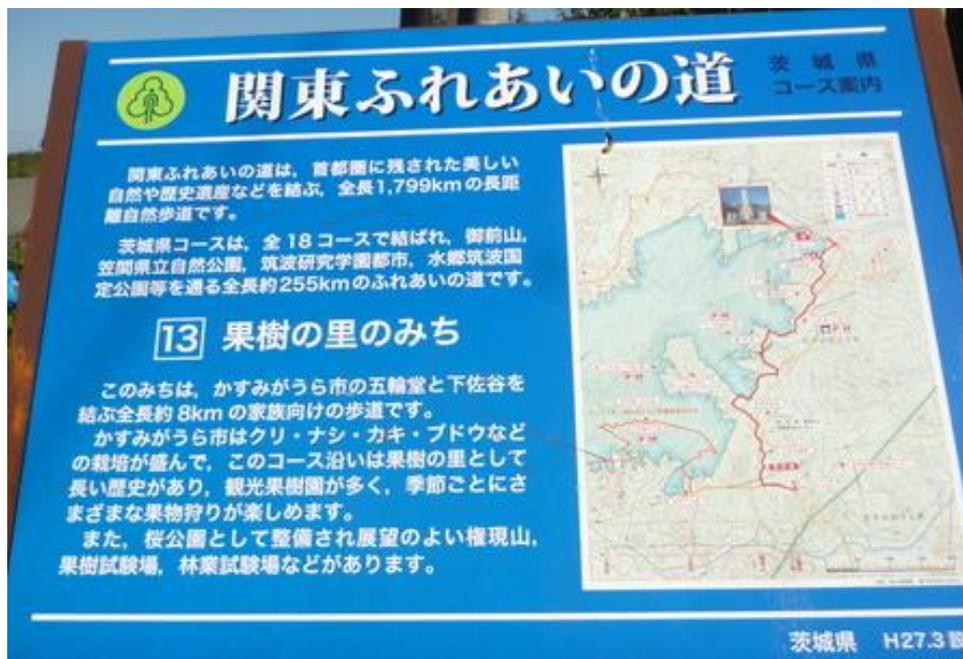


2021年10月3日(日)晴れ、暑い29度。地球温暖化の影響だろう、10月に入っても涼しくならない。
 今日筑波山麓を離れて、中世の城跡を訪ね、県文化財の摩崖仏を見学して、果樹の里道をのんびり歩く。
 うまい具合に、次回コース⑭のコース中に、山の中の一軒家のホテルがあるので、そこに宿泊する。
 たとえ筑波山への道筋とは言え、こんな山の中に一軒宿とはびっくり。



「⑬果樹の里のみち」案内板 (首都圏自然歩道協議会)



「⑬果樹の里のみち」地図(点線は今宵宿泊するホテルへの道筋、次回のコース)



今日の鉄道最寄り下車駅は、常磐線石岡駅 8:16 着



駅前からフラワーパーク方面行きのバスに乗り、五輪堂バス停で下車



バス停前の道案内に従って歩き始める



歩き出したら、ふれあいの道を歩く同じ仲間がいる



ご夫婦で、私と同じ関東ふれあいの道を歩いている、との事



まずは、権現山に建つ指定写真のポイント(昭和天皇、野点の場所)
権現山は、昭和4年陸軍大演習で天皇がここで御統監した



一大演習地となったから、見通しが良く、遠く霞ヶ浦まで見える



権現山は、鎌倉時代益戸氏が志筑城の支城として、砦を築いた遺構が残る。写真は堀切の跡



志筑城跡を見に行く。街道はそれらしく、昔日の城下の面影がわずかに残る



「志筑城跡」遺構はなく、石垣も取り払われ、説明板のみが当時を語る。



志筑城は平安時代に築城されたが、南北朝時代に廃城となった。徳川時代に再興し、本堂茂親が正保2年(1645)陣屋を構え明治まで続いた。明治26年志筑小学校となったが、平成26年学童減少で閉校となる。



わずかに残った池が、当時の堀跡と云う



ふれあいの道に戻り、閑居山の摩崖仏を見に行こう



地元歩こう会の人達が、親切な道案内をしてくれる



閑居山への道案内が至る所に置かれている



弘法大師が東国遍歴の途次、この地で布教したと伝える。摩崖仏を早く見に行こう



「百体摩崖仏」(県文化財)鎌倉時代この山の中腹の寺に、露出した花こう岩の表面に 100 体あまりの仏像が彫られた



至る所に、緻密に刻まれている。一心に念仏を唱えながら、刻んだのだろう



かなり風化しているが、刻み込まれた仏像がみられる



山を下れば、里山の縁に沿うように歩く



夏草に埋まった道標を危うく見失うところだった



今日の歩くコース、タイトルの通り果樹の里のみちだね



石岡は富有柿の生産地、皇室にも献上されている(令和3年11月16日 NHKTV)



ちょうど12時過ぎ、真言宗圓明院で昼食としよう。丹精された生け垣が綺麗



「堂前の五輪塔」 堂前の集落にある、文禄 2 年(1593)佐谷在住山内家のお墓で、高さ 2mある花こう岩の供養塔
(県文化財)



「山本の五輪塔」天分 14 年(1545)かすみがうら市最大の五輪塔で、県文化財
奉造立逆修、大旦那道志天文 14 年と記す。生前に死後の冥福を祈って建てたもの



果樹の道からバスの通る県道に出ると、今日のゴール下佐谷が近くなった



下佐谷バス停にゴール。時刻は 14 時 00 分 17.6kmであった。

今宵の宿舎は⑭コース上にあるから、そこまで歩き続ける。夕方には着くだろう

[参考タイム] 石岡駅(8:35)→五輪堂バス停(8:51)→権現山(9:15-9:25)→志筑城跡(10:14-10:15)
→閑居山摩崖仏(11:20-11:30)→圓明院(12:15-12:35)→伊保神社(13:04)→五輪塔(13:40)→
下佐谷バス停(14:00)

この項 完

「関東ふれあいの道(茨城)⑭寺社めぐりと田園風景のみち」に続く